

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年10月30日

計画の名称	大阪府内における安心・安全で快適に暮らせる駅前市街地の整備と賑わい創出のまちづくり		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)	交付対象	大阪府、寝屋川市、枚方市、高石市
計画の目標			

大阪府下の各鉄道駅周辺は、高度経済成長期の急激な都市化により発展を遂げてきたが、その反面、スプロール化による無秩序な市街地の形成に伴う中心市街地の空洞化と生活環境の悪化に悩まされ続けている。そこで、本計画においては、市街地再開発事業による安全で快適に暮らせる駅前市街地の形成、公共施設整備の促進、防災性の向上といった都市機能の更新を図りながら、それぞれの地域特性をいかした「顔」のある都市核づくりを通して、秩序ある土地利用を基本とする市街地の整備を計画的に進めていくことを目的とする。

計画の成果目標（定量的指標）	市街地再開発事業等による利便性の向上、賑わい創出ならびに事業施行区域内の建築物の不燃化の促進による災害に強いまちづくりの推進		
----------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)							
市街地再開発事業の施行地区内における歩行者・自転車通行数の計測 (歩行者・自転車通行数の増加による利便性の向上および賑わい創出)	37,400 人・台/日	57,500 人・台/日	58,600 人・台/日							
市街地再開発事業施行区域内における不燃化率の算定（建築物の不燃化の促進による災害に強いまちづくりの推進） 不燃化率＝（耐火建築物の建築面積＋準耐火建築物の建築面積×0.8）÷（全建物の建築面積）×100（％）	50.81%	—	100%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,207 百万円	A	3,982 百万円	B	0 百万円	C	225 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	5.3%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	事後評価（中間評価）の実施時期
事後評価（中間評価）の実施体制	公表の方法

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A1 都市防災推進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
											H23	H24	H25	H26	H27			
1-A-1	再開発	一般	大阪府 寝屋川市 枚方市	間接	香里園駅東地区市街地再開発組合	—	—	香里園駅東地区第一種市街地再開発事業	住宅、商業、業務、医療等 2.6ha	寝屋川市・枚方市						1,182		
1-A-2	再開発	一般	大阪府 寝屋川市	間接	寝屋川市駅東地区再開発株式会社	—	—	寝屋川市駅東地区第二種市街地再開発事業	地域交流C、教育文化施設等 1.5ha	寝屋川市						228		
1-A-3	再開発	一般	大阪府 枚方市	間接 直接	枚方市	—	—	牧野駅東地区第一種市街地再開発事業	住宅、商業等 0.2ha	枚方市						191		
1-A-4	再開発	一般	高石市	直接	高石市	—	—	羽衣駅前地区都市再開発支援事業	住宅、商業等 1.9ha	高石市						5		
1-A-5	再開発	一般	大阪府 高石市	間接	羽衣駅前地区市街地再開発組合	—	—	羽衣駅前委地区第一種市街地再開発事業	住宅、商業等 1.1ha	高石市						1,296		
1-A-6	街路	一般	高石市	直接	高石市	—	—	羽衣駅前地区関連街路整備事業	街路 (W=10～18m) 及び駅前広場等	高石市						930		
1-A-7	街路	一般	高石市	直接	高石市	—	—	JR東羽衣駅連絡デッキ整備事業	歩行者用デッキ	高石市						150		
											合計					3,982		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
										H23	H24	H25	H26	H27				
											合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	活動支援	一般	高石市	直接	高石市	—	まちづくりワークショップ	ワークショップ 年3回程度開催	高石市						2	
1-C-2	施設整備	一般	高石市	直接	高石市	—	「羽衣アーケード」整備事業	乗換動線における鉄道と民間協調による全天候型通路の整備	高石市						100	
1-C-3	住宅	一般	高石市	直接	高石市	—	防犯カメラ設置事業	駅周辺における防犯カメラの設置	高石市						20	
1-C-4	計画・調査	一般	高石市	直接	高石市	—	土地利用誘導方針の検討業務	土地利用誘導方針の検討調査	高石市						3	
1-C-5	施設整備	一般	高石市	直接	高石市	—	羽衣駅前地区歩行者空間整備事業	歩行者用デッキ	高石市						100	
													合計	225		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	1-A-6と共に地域の意見を反映し、再整備後の街の使い方や活動拠点づくりを中心とした議論により、地域と連携した効果的な中心市街地の再生を推進する。	
1-C-2	1-A-5と共にアーケードを設置することにより、快適な歩行者空間にするとともにまちづくりの活性化に寄与し、街のにぎわい拠点とする。	
1-C-3	1-A-5と共に安全・安心なまちづくりの観点から、市街地再開発事業施行区域である羽衣駅周辺部分における防犯カメラの設置を行うことにより、防犯の抑止効果が向上する。	
1-C-4	1-A-5と共に周辺地区を含めたまちづくりの活性化に寄与できるよう、用途地域の変更に向けた調査・検討を行う。	
1-C-5	1-A-5と共に整備することにより、南海⇄JRの乗換動線において快適で安全な動線を確保する。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		香里園駅東地区及び寝屋川市駅東地区の市街地再開発事業が完了し、利便性の向上、賑わい創出ならびに事業施行区域内の建築物が不燃化された。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（市街地再開発事業の施行区域内における歩行者・自転車通行数の計測）	最終目標値	58,600人	目標値と実績値に差が出た要因	事業完了地区において、利便性の向上及びにぎわい創出により、現況値よりも歩行者・自転車通行者数は増加したが、目標値を達成できなかった。また、事業未完了の地区もあり、目標値と差が生じた。
		最終実績値	43,600人		
	指標②（市街地再開発事業施行区域内における不燃化率の算定（建築物の不燃化の促進による災害に強いまちづくりの推進））	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	93%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					

3. 特記事項（今後の方針等）

H28年度より別計画に移行しており、引き続き事業進捗に努め、早期の効果発現を行う。